



メーデー集会 (高知会場)

# 不屈

「不屈」

No.563 付録  
高知版No.408  
2021.5.15

---

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
高知県本部

発行責任者  
森岡 幸一  
TEL・FAX  
088-841-0072

### 中央常任理事会

増本会長挨拶から抜粋になります  
すが報告です。

#### 本常任理事会の任務

本日の中央常任理事会の目的は、前回常任理事会以降の諸活動を総括して、5月12日の国会請願要請行動の成功に向けた請願署名の目標への追求、今秋までに迫り来る衆議院議員総選挙において「市民と野党の共同」を目指す野党勢力の勝利に貢献し、そして第39回全国大会で決めた「2020年代に治安維持法体制の決着をつける」ための同盟の政治的・組織的力量を飛躍的に獲得するために、組織を挙げて当面する諸課題を達成するための意思統一をすることであります。

#### 取り組む課題

- ① 常任理事会の任務を受けて五つの課題を提起しています。
- ② 国会請願に向け自主目標の達成
- ③ 第40回全国大会の延期、期

日は来年6月以降③来る衆議院議員選挙勝利を目指す④次期大会までに2万人会員⑤署名を広く各団体・個人。宗教団体に働き掛ける。

続けて田中事務局長より報告と提案。最後に財政報告終えて会議が始まりました。オンラインを併用した会議で、慣れない分聞き取れなかったり、映像が出ないトラブルもありましたが概ね会議は順調に終わりました。山形の有権者比1パーセントを目標にコロナ禍で7割集計には頭が下がります。

会員拡大、地方自治体請願、顕彰、伊藤千代子上映運動など厳しい状況化の中でも全国の優れた活動報告がありました。7月に年度総会を開きます。全国の経験に学び諸課題達成を目指します。

森岡

**県本部総会**  
 7月24日(土)  
 14時~16時  
 会場：草の家

**6月幹事会**  
 6月17日(木)  
 14時~  
 草の家

故 猪野 陸氏 作品  
 埋もれてきた群像より

「田園の花」(一)

二月の表紙には「田園花社歌」を入れ、編輯後記に「節はアムール河の歌の節で皆んなで唄はう」とかいた。

社歌は「若草萌ゆる春の日の南の国の田園に／色とりどりに咲き出し／花をあつめてわをつくれ」村と工場はへだつれど／書く文章は異なれど／友と掲げん美はしき／仇くもの文芸誌」などが五番までつづき、五番「来れきやうだい旗の本／社会のなぐさめ失なひて／暗海遠くさまよへる／友よ光りに集ひ来よ」であった。広海大治の作だった。

この「アムール河の歌」というのは、「聞け万国の労働者／轟きわたるメーデーの」という「メーデーの歌」の節であるが、「アムール河の歌」の曲をひろげ、メトデー参加の準備もすすめて

いったのだろう。三号の裏表紙にも、これを「田園の花の歌」として五番まで入れ、(アムール河の節で)と加えた。

三号には「生糸の兄弟姉妹へ」として、大西宣夫の「休日」と、室戸鳴海の「暁の製糸工場」の二つの詩が載った。大西宣夫は藪田忠夫、室戸鳴海は西森輝生、板東定利と使いわけてきた広海大治のまた別のペンネームだった。

「休日」は「一ヶ月も只働きして泣いてゐる」製糸女工たちが、今こそ！私は皆の友達と手をつなぎ／強く強く生きて闘つて行かう」という詩であり

「暁の製糸工場」は、不況で首になつていく十四の年からの製糸女工たちに「製糸工場の兄弟姉妹の皆さん／五月一日が近づいた／弱い私達の団結力を示す／メーデーが近づいた」五月一日は来る／弱い私達の強い団結力を／資本家に示す／メーデーは近づいた／製糸工場の皆さん／みんな手を組んで／メーデー

に参加しよう／意気高くしぼられる者『労働者』の旗を立て／怒りを全世界に巻き起さう」と結んでいく詩である。

そして永田徹も女工からの手紙のかたちの「工場からの便り」をかいた。「誰も彼も色の悪い二本の腕で年々傾いてゆく貧乏な百姓の家庭を背負つてゐるのですから、大黒柱の兄が朝倉の営所に居て働きにならないので一切の重みが私にかゝつてゐます。然もとり賃は下りに下り困つたものです。私は皆にあなたから聞いたメーデーの話をしました。新聞でみると高岡の方からもメーデーに行くそうですわね」

「製糸の女工の一人として世界の労働者の闘いと団結の日を何とかせねばと考へました」今年メーデーに参加出来なくても来年こそはの意気込みで今から元気にやらうと決めました」という「便り」である。

女性部の広場

中内理津子

一九六五年に卒業して就職した。その頃は健康保険の本人は医療費無料だった。介護保険料などと税金の二重取りも無かった。

後期高齢者などと年寄りを別枠にする制度も無かった。勿論、非正規等と言う職種は無かった。江戸時代に「人入れ稼業」と言つて「人買い」と同じだからと戦後廃止されたと退職後に行つた県立短大で学んだ。

「日本は世界でも稀に見る、労働者にとつてはいい国なんです。終身雇用制とか年功序列など」と。でもそれが脅かされています」と。これ程悪い国になるとは想像もしていなかった。

「自衛隊のイラク派兵は違憲」と判決が出た名古屋高裁で県内では五十一名の仲間と闘った。弁護団長は「司法は生きていた」と声を詰まらせて言い、皆で嬉し涙を流した。平和的生存権が

の日であり、アメリカの労働者が八時間労働制実施要求の全米総罷業をして成功させてから、万国の労働者が資本家階級への闘争と国際的団結を誓う日となつた。日本でも大正九年以来行われ、最近農民も参加し年々強大になりつつある、という解説だった。

「新しい言葉」にはデマ(デマゴギー)もあり「ドイツ語、逆宣伝といふ程の意味、田園の花が何等か政治的な集いの様にデマをとぼす者がある。だが田園の花は政治的には中立だ。私たちはデマにまよわされてはならない。自分達の道を進まう」という現実を教材にした解説だった。そしてこの「新しい言葉」は、でたばかりの『大衆の友』二月創刊号の「今日のコトバ」にヒントを得たものではなかったか。

女工たちは十四の年から「籠の鳥」といわれる寄宿舎住まいだった。夜間外出には許可がい

たて、朝は五時から工場にたち足はむくみ、手は水に喰われる、身につくサナギの匂いの悪条件下で身体もむしばまれていた。そこへ労働者の権利、団結、世界の労働者につながるメーデーと希望の呼びかけだった。『田園の花』はあたらしい生き方を呼び起こす雑誌だった。

戦争のころ高知で

藤原 義一

学校儀式における不敬事件  
 不敬罪は、1882年に施行します。

高等中学校、高等学校では、御真影に拝礼するのは名譽なことという觀念から、まず教員が拝礼し、次に生徒が拝礼するという順序でしたが、教員の薄礼、欠礼を生徒が見とがめる場面をつくらないために、教員、生徒

の同時いっせい拝礼方式に変わっていきます。

小学校では、1891年の祝日大祭日儀式規程の当初から、いっせい拝礼方式でした。学校儀式における不敬事件、高知ではこんなことが起こっています。

1928年

高知の某村の中島直彦村長の御真影に対する不敬発言事件。御真影奉迎に關して役場で小学校長と打ち合わせの際に「御真影は偶像である、業を休んで仰々敷迎ふ必要はあるまい・・・郵送にても可なりと思ふ」と「不敬の言を弄」します。

参考文献

岩本努さん著『御真影』に殉じた教師たち(1989年。大月書店)。

認められた。

高遠菜穂子さんの本によると、かつて日本が九条を持つていた国というだけでアラブ諸国ではとても尊敬されていた。それなのに次々と海外派兵を繰り返す、あの中村哲医師が殺害される事態にまでなった。憲法九条を踏みにじった安保法が制定されてからは軍事費が増大し、軍備に兆の税金が積み込まれている。この小さな国をいつたいたいでしょうかと云うのだろうか？

十一歳の長兄が新聞配達を始め、次兄と四人貧しいながらも幸せだった。会社と役場の人がペアで来て「国は貴方達の面倒は見切れん」「もうすぐ大量の首切りが有り、女や年寄りには危ない。父の戦死の公報が来た後、母は鉱山で選鉱婦として働きそうでなければ社宅も出てもらう」と強引に脅され、無理矢理再婚させられた。鉱山全体では十組か十五組。でも殆ど家庭が崩壊し鉱山を出て行った。

高校生の頃、その役場の人が

大層な出世をしたと近所のおばちゃんの話で知った。遺族年金の受給者を減らす為の国策だった。私達兄妹の不幸はそこから始まった。いろいろ有り、私達兄妹は母の兄妹の家をバラバラにタライ廻しされ、年に一度位しか会えない、居場所の無い生活になった。

高校の夏休みだったが母の許に一時帰宅した私は「なんで戦争なんかに行かしたん？行かさんかったら良かったのに！私等だけ何でこんな辛い目に会わなにかんが？」と母を責めた。母は手放して子供のように声を上げて泣いていた。私は中学校を三つも移り、殆んど笑わず無口な子になり、高校の寮の食堂で「何でしゃべらんのか？私達を馬鹿にしとるんで？」と上級生や同級生に吊るしあげられたりした。

戦争なんて二度と御免だ！九条を守りたい！これ以上悪い国になって欲しくない！  
労働者は一日八時間働けば普

通に暮らせる。非正規なんて働き方は無し、先生も生徒も楽しい学校になって不登校や先生方の働き過ぎも無し、看護師や保育士、介護士も十分な手当でと休養を与えられ、本来の目的の幸せが感じられる社会になって欲しい。

この年になって年金は毎年減らされる。私達だって働いている頃は「こんなに？」と思うくらい引かれていた。年金組合で言えば仏では組合員が四百万人で年金を下げるなどと政府はとても言えないそう。医療費負担は零、学費も零なので貯金なんかする人は居ないと日本母親大会の分科会で学習した事が有る。日本は年金受給者四千万人だが組合員は十二万人足らず。もつともつと皆で団結していい国になるよう頑張りたい。職場も学校も楽しくて、医療や生活も心配しなくていい社会。学びたい人はいくらでも学べる。戦争なんて二度と考えない国になれるよう頑張りたい。

#### 4月幹事会報告

☆同盟員

264名

☆署名

個人署名 742筆

団体署名 9筆

国会請願は5月12日。

コロナ禍で請願行動は中止、集まった署名は中央本部に託しました。

☆専門部会

部会報告はありません。

☆財政

☆女性部・青年部

☆その他

県本部総会

7月24日(土)

草の家

14時～16時

横村浩顕彰

6月1日(火)

場所

間島パルチザン詩碑前

※時間と案内は幹事会で決定します。